

うない通信

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター Vol.14 2019年3月発行

2018(平成30)年度主な支援事業

研究活動等支援員制度

本制度は、育児や介護といったライフイベント中の研究者に教育研究支援として研究補助員を配置し、研究力を向上させることを目的とするもので、今年度は第1期、第2期に各8名、計16名の研究者が採択され、延べ20名の支援員が配置されました。

女性研究者介護帰省費用補助事業

本制度は本学の女性研究者が介護を目的とした帰省に際して航空券を購入した場合の費用の一部を補助するもので、今年度は3名を採択し、支援をおこないました。

育児サポート・サービス利用料補助事業

教職員の仕事と家庭の両立を支援するために、育児サポート・サービスを利用する際の利用料の一部を補助しています。

今年度は、教職員6名を採択し、支援をおこないました。



病児・病後児利用料補助事業

教職員の就業及び家庭生活の両立を支援することを目的に、病児・病後児保育を利用する場合の利用料の一部補助をしています。

今年度は、教職員6名を採択し、支援をおこないました。



国際学会派遣費用補助事業および英文校閲費用補助事業

女性研究者を対象に、費用の一部を補助する「国際学会派遣費用補助事業」「英文校閲費用補助事業」をおこない、国際学会派遣費用補助事業では第1期に2名、第2期に1名、英文校閲費用補助事業では、第1期に1名、第2期に2名へ支援をおこないました。

短期研究専念制度再募集のお知らせ

女性教員の教育または大学運営等の職務を一定期間免除し、その期間研究または学術調査に専念できる「平成31年度女性教員短期研究専念制度」の再募集をおこないます。

詳細につきましては、ジェンダー協働推進室HPをご覧ください。

●提出締切:
2019(平成31)年4月26日(金)



編集後記

昨年11月にジェンダー協働推進室のメンバーになりました。女性研究者の先生方の忙しさにはほど遠いのですが、3歳の息子を絶賛子育て中で、私なりにワークライフバランスを考えながら日々を過ごしています。息子を寝かしつける際に、「今日仕事でなにをしたー?」と毎日のように聞かれるので、息子に聞かせるためにも仕事に励みたいと思います。

今回の編集にあたり、年度末の多忙な中、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。(あ)

お知らせ
2019(平成31)年4月1日から、
メールアドレスが下記に変更となります。
gender@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学教員ポスト戦略的再配分(重点改革推進枠)による女性教授限定公募の実施

本学では、第3期中期目標・中期計画、および平成27年度に採択を受けた文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」において、具体的に女性研究者の在籍比率、採用比率、上位職登用に関する数値目標を掲げ、平成32年度の達成を目指しています。

しかし、依然として教授職における女性比率が低く、なかなか改善の兆しが見えないことから、特に女性比率の低い自然科学系部局等を対象に、女性教授の比率向上および目標達成に向けた事業推進の加速と強化を図ることを目的に、「平成30年度琉球大学教員ポスト戦略的再配分(重点改革推進枠)」を活用した新たな方策として「自然科学系分野における女性教授限定公募枠」を実施することとし、学内募集をおこないました。

学内自然科学系部局等からは7件の応募があり、教員人事学長諮問委員会による厳正なる審査の結果、医学部附属病院による女性教授限定公募の実施が決定しました。

当該公募に関する要項等の情報を含め、本学の教員公募情報については、下記URLをご覧ください。
http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/job/kyoukan.html

国立大学法人琉球大学岸本基金寄附金 女子大学院生対象グローバル人材育成事業

琉球大学岸本基金寄附金における人材育成事業の一環として、「女子大学院生対象グローバル人材育成事業」を実施しました。

本事業は、本学の女子大学院生を海外の研究機関等に派遣し、受け入れ先研究者の指導の下、国際的な研究環境におけるリサーチに携わり、異文化の学修環境に触れ、多様な学問文化を経験することで、より優れた研究成果の発表を目指すとともに、スキルアップやモチベーションの向上を図り、グローバルに活躍する次世代の女性研究者を養成することを目的としています。

今年度は6名の応募があり、選考の結果、大学院保健学研究科、大学院法務研究科、大学院理工学研究科に所属する計4名の女子大学院生に対し、渡航に係る費用の一部を支援しました。

『派遣を終えて』

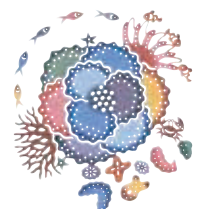
インドネシア共和国ロンボク島でのいじめ防止に関連した学校教育についての修士研究の活動を支援していただきました。

現地では共同研究者との討議や地域でいじめをテーマとした公開セミナーを開催し、研究結果の報告を行いました。

また、現地の女性研究者が大学教員や勤務医等、様々な役割を持つ中で研究を行っている姿に刺激を受け、自分も今後仕事と研究を続けていく道を模索していきたいと強く動機付けられました。

今回の派遣を支援していただいた岸本基金に深謝申し上げます。

●保健学研究科博士前期課程 登 圭紀



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室

Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675

E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/

「うない基金」を創設しました

ジェンダー協働推進室では、今年度新たに特定基金「琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金」、通称「うない基金」を創設しました。

本基金は、次代を拓く優秀な女性リーダーを輩出することにより、地域社会・国際社会に貢献するとともに、男女共同参画ならびにダイバーシティを推進することを目的として、琉球大学に所属する女性研究者および女子学生の教育研究活動並びに人材育成に関する事業を助成するものです。

つきましては、本基金の趣旨にご賛同いただき、格別のご支援を賜りますよう、ご協力のほど何卒お願いいたします。

■うない基金

<https://payment.kikin.jim.u-ryukyu.ac.jp/u-ryukyu/entry.php>
寄附の方法として、クレジットカード決済または銀行口座振込による手続きがご選びいただけます。



琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金(うない基金)



琉球大学に所属する女性研究者および女子学生の教育研究活動および人材育成に関する事業を助成し、次代を拓く優秀な女性リーダーを輩出することにより、地域社会・国際社会に貢献するとともに、男女共同参画ならびにダイバーシティを推進することを目的に、「うない基金」を創設しました。
本基金の趣旨にご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「うない」とは、神話のこころの奥の奥の「無」を意味し、現代の沖縄では「女性たち」、あるいは女性たちの主体的な結びつきや支え合いという意味を込めて語りに用いられてきた。琉球大学ジェンダー協働推進室では、こうした「うない」の精神こそが、全ての人が活躍できる未来社会創成への原動力となると信じ、本特定基金の名称を「うない基金」としました。

- ◇寄附金のご案内◇ 1口 1,000円
趣旨をご理解いただき、**任意の口数**で、ご協力頂けますと幸いです。
※寄附金の使途については、特にご希望のある方は「通信帳」に明記ください。
- ◇寄附の方法◇ 琉球大学Webサイトから、クレジットカード決済によるお手続きが可能です。
銀行口座振込でもご寄附いただけます。
<https://payment.kikin.jim.u-ryukyu.ac.jp/u-ryukyu/entry.php>
- ◇寄附者ご芳名◇ ジェンダー協働推進室ホームページ等に、ご寄附いただいた方々のご芳名を掲載いたします。また、高麗寄附金への掲載も予定しております。
※希望されない方は「通信帳」よりお知らせください。

女性研究者のリーダーシップ育成・支援 ・学会等へのオポポーター派遣 ・英語によるリーダーシップ研修	若手女性研究者の研究力強化・支援 ・英語論文等スキルアップセミナーの開催 ・競争的資金獲得セミナーの開催 等
女子学生の育成・支援 ・「うない奨励賞」の授与	地域における男女共同参画推進及び次代を担う女性人材の育成 ・他機関との連携による次世代育成事業
女性研究者が安心して働ける職場環境の整備 ・「うないイベント」等の両立のための環境整備	【お問い合わせ】 琉球大学ジェンダー協働推進室 098-895-6675 gender@ta.jim.u-ryukyu.ac.jp http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/

夏休み学童保育2018をおこないました

2018(平成30)年8月1日(水)～8月7日(火)の土日を除く5日間、琉球大学教育学部附属中学校の教室を会場にお借りし、学童保育をおこないました。今年度は、17名の教職員が利用し、19名の子どもたちを受け入れました。

学内からも多大なご協力をいただき、農学部の平川守彦准教授による「琉大ミニミニ動物園」や教育学部美術教育専修の永津禎三教授と学生の皆さんによる「草木染」や「紙彫刻」、教育学部英語教育専修の学生の皆さんによる「Kid's English!」といった琉球大学オリジナルの体験型プログラムを実施しました。利用者からは、「琉球大学プログラムを楽しめた」、「来年もまた参加したい」などの感想が寄せられ、子どもたちや保護者にも大変好評でした。



大学入試センター試験時における託児室の開設



2019(平成31)年1月19日(土)、20日(日)の2日間、本学の教職員の仕事と生活の両立を支援することを目的に、大学入試センター試験時における託児室を開設しました。

大学本部棟第一研修室を会場に、教職員5名が利用し、幼児・児童8名をお預かりしました。「西原ふぁみりーさぽーと きらきら」さんによる保育がおこなわれ、子どもたちは工作やおやつ作り、DVD観賞などをしながら仲良く楽しく過ごしていました。



かなさん介護セミナーを開催しました

2019(平成31)年2月13日(水)、22日(金)の両日、那覇市地域包括センター松島より保健師の百次由美子氏を講師にお迎えし、「かなさん介護セミナー認知症サポーター養成講座」を開催しました。

講座では、脳の働きや認知症を引き起こす病気、認知症の症状、認知症の方の気持ちや日常生活における援助などについてお話がありました。百次氏の経験をもとにしたいくつかの事例についてもご紹介いただき、認知症についての理解がより一層深まる機会となりました。講座終了後には、「認知症サポーター」認定の証であるオレンジリングが参加者に贈られました。

22日(金)は講座後に、認知症予防に効果があるとされているスクエアステップの指導を受け、参加者は楽しみながら将来の自身の介護予防にもつながる運動に取り組んでいました。



「競争的資金獲得セミナー～科研費採択へのアプローチ～」を開催しました



2019(平成31)年3月4日(月)、URAとして多数の支援実績がある矢野覚士氏(ロバスト・ジャパン株式会社)を講師にお迎えし、「競争的資金獲得セミナー～科研費採択へのアプローチ～」を開催しました。

科研費をはじめとする外部資金とはどのようなものか、これまで行われてきた科研費制度改革に対応した申請書作成の理論についてお話いただき、競争的資金の基本から新様式の攻略、審査結果の見直しから次の採択に繋げる方法まで、科研費採択に向けての重要ポイントを丁寧に解説していただきました。

参加者は講師の解説に傾きながらメモを取る様子が見られ、質疑応答の際にも積極的な質問が出されるなど、科研費申請の基礎を固める大変有意義なセミナーとなりました。

英語でおこなうリーダーシップ研修を開催しました

「共に成長するためのコミュニケーション術～多様な人材が支え合う文化を目指して～」と題して、2019(平成31)年3月5日(火)、琉球大学本部棟第一研修室にて、英語でおこなうリーダーシップ研修を開催しました。

講師に、沖縄科学技術大学院大学の多様化・職場厚生支援セクション、シニアマネージャーであるミシェル・トンプソン氏をお迎えし、組織だけでなく自分自身も成長することのできるリーダーシップとはどのようなものか、5つのヒントについて英語でお話いただきました。

トンプソン氏のお人柄もあって終始和やかな雰囲気の中、ネットワーキングのためのコミュニケーションを実践するグループワークでは、女性研究者同士が楽しくお互いの親交を深めながら、リーダーシップを表現する技術も習得することができ、とても実りのある研修となりました。

